

2

もっと知りたいあなたに 平成26年度予算を見てみよう

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。お財布で言えば3種類のお財布があって、お金の出し入れをします。



1,312億
8,700万円

一般会計

一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を経理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金の出し入れするお財布です。

平成26年度の当初予算の額は、1,312億8,700万円になっています。

次のお財布は「特別会計」です。

お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など8の特別会計があります。

765億
8,294万円

特別会計

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費 18億2,271万円
- 競輪事業費 25億1,516万円
- 墓園事業費 5億8,182万円
- 国民健康保険事業費 417億8,270万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費 12億1,772万円
- 湘南台駐車場事業費 1億4,790万円
- 介護保険事業費 237億8,504万円
- 後期高齢者医療事業費 47億2,989万円

442億
4,338万円

公営企業会計

最後のお財布が「公営企業会計」です。

普通の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。

藤沢市には下水道と病院の二つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費 213億1,016万円
- 市民病院事業 229億3,322万円



全会計 **2,521億1,332万円**

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況ですか?



では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成26年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

自主財源
911億5,447万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。



市民のみなさん

藤沢市

依存財源
401億3,253万円

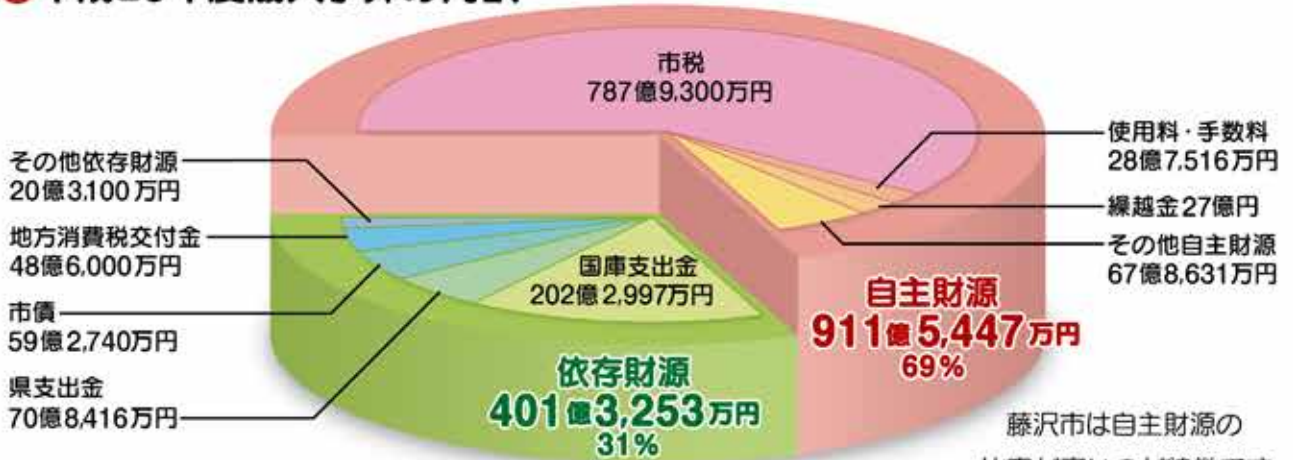
道路や施設をつくるときに国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。



国や県

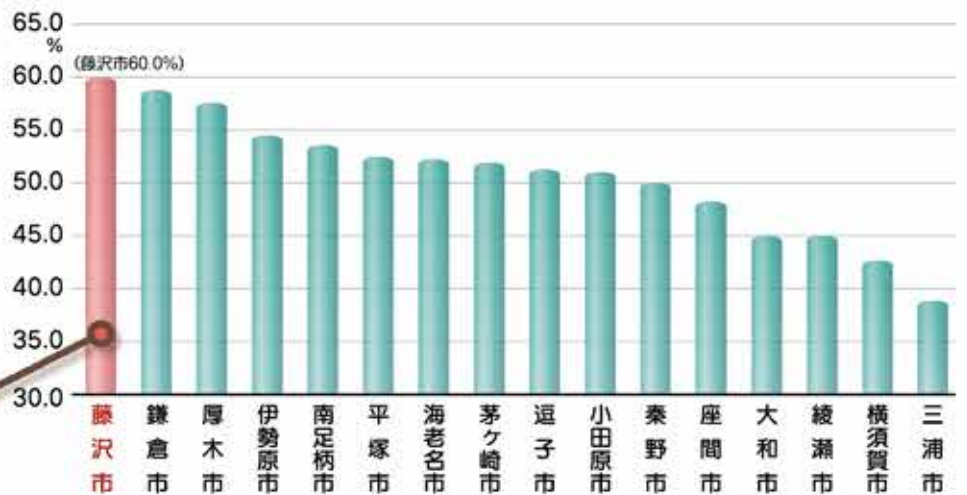
藤沢市

●平成26年度歳入予算の内訳



●歳入予算に占める市税の割合

藤沢市は
県内16市中
第1位です



● 予算規模の推移

■ 一般会計 ■ 特別会計・公営企業会計

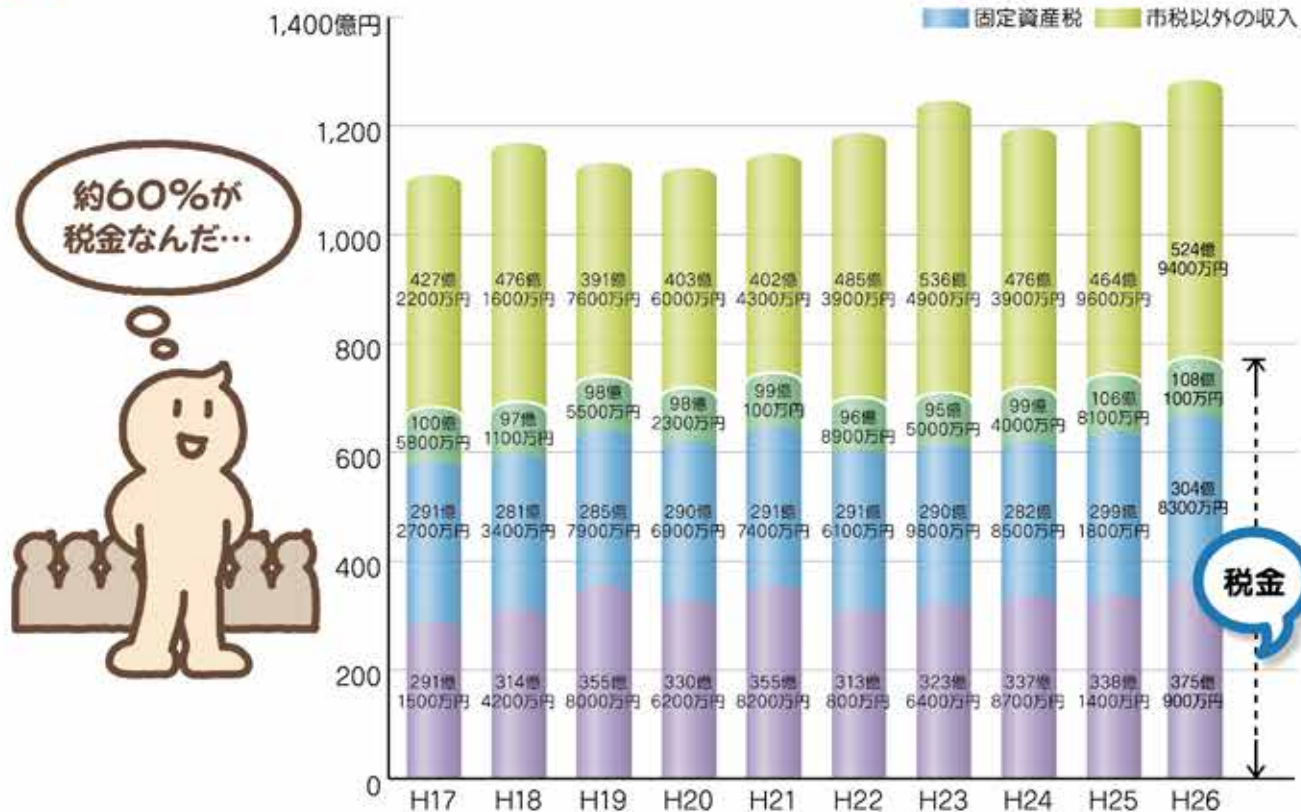


平成26年度の一般会計の当初予算は、投資的経費の増のほか、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金等の新設に伴う補助費等の増などにより、前年度の当初予算に比べ増加しています。

特別会計・公営企業会計の当初予算は、国民健康保険事業における医療給付費や介護保険事業における介護給付費の伸び、また下水道の管きょ建設等の工事費の増や市民病院の施設整備費の増などにより前年度の当初予算に比べ増となっております。

● 一般会計歳入予算に占める市税の推移

■ 市民税 ■ その他の市税
■ 固定資産税 ■ 市税以外の収入



市民税や固定資産税などの市税収入は、一部企業の業績好調による法人市民税の増などから、市税収入自体が前年度比5.9%の増となっているものの、歳入予算全体に占める割合は、国庫支出金、県支出金の増や大規模事業に係る市債の増などにより、前年比-1.5%の60.0%となっています。

3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況ですか?

入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、道路や学校をつくったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、そのほか子育てや福祉などさまざまな事業にお金を使っています。

では、何にお金を使っているのでしょうか? 簡単に説明すると次のようになります。



●目的別のお金の使い道



総務費
市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、また公害防止や緑地の保全などに使われます。

民生費
保育園の運営費、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり観光施設の管理などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園をつくったり、市営住宅の管理などに使われます。

消防費
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

教育費
小・中学校の校舎や体育館、また公民館、図書館、スポーツ施設等の整備や運営に使われます。

公債費
大きな施設や道路をつくる時に、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

その他
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

4 家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません
が、例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えて
みると…



藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	787億9,300万円	人件費	262億 423万円
使用料、手数料など	123億6,147万円	扶助費	331億 531万円
【自主財源合計】	911億5,447万円	物件費	223億7,440万円
国・県支出金など	342億 513万円	投資的経費・維持補修費	139億7,976万円
市債の発行	59億2,740万円	公債費	83億6,745万円
【依存財源合計】	401億3,253万円	繰出金・補助費など	237億1,333万円
収入の合計	1,312億8,700万円	積立金・貸付金	35億4,252万円
		支出の合計	1,312億8,700万円

1カ月の家計簿に例えると…

こんな感じになります。

収 入		支 出	
お父さんの給料	24万6,000円	食 費	8万2,000円
お母さんのパート代	3万9,000円	医療費・保育料	10万3,000円
【給料等の合計】	28万5,000円	光熱水費や被服代	7万円
その他臨時収入	10万7,000円	家の増築・修理、家財購入	4万4,000円
銀行からの借入	1万8,000円	住宅ローン返済	2万6,000円
【臨時収入の合計】	12万5,000円	子どもへの仕送り	7万4,000円
収入の合計	41万円	貯 金	1万1,000円
		支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 741億36万円 家計簿に例えると 282万2,000円
 預貯金の残高(基金残高) 112億8,546万円 家計簿に例えると 43万円

※平成24年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で69.5%を占めています。年間の借金も
多くはありませんね。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難
しい経費が大きいですね。

